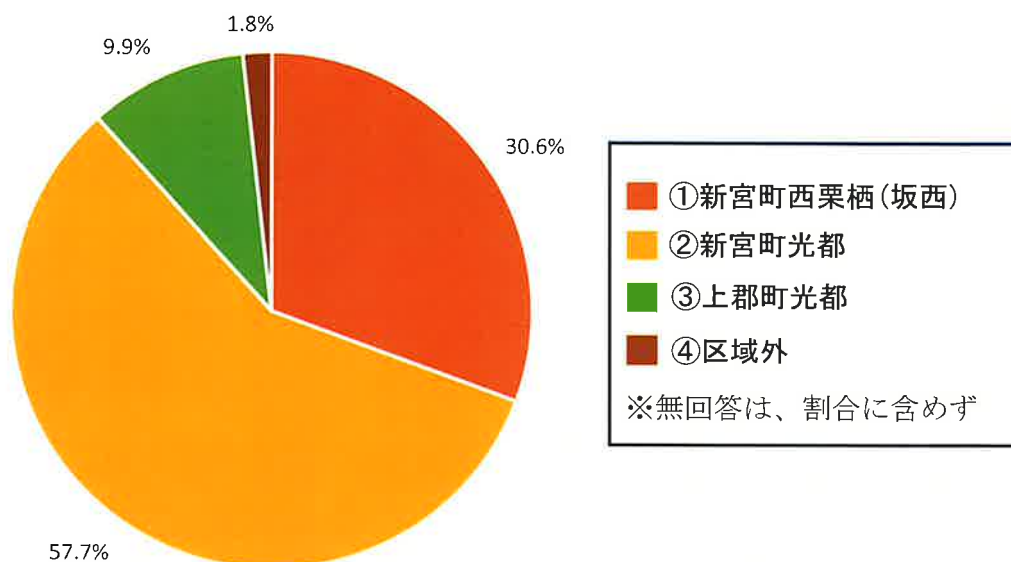


播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査結果表

- 1 調査実施日 令和6年11月10日～12月20日
- 2 調査対象者 播磨高原広域事務組合立学校区全世帯 及び 区域外就学家庭
- 3 調査回答数 112件（配布数361件） 31.0%（回収率）

質問1 あなたのお住まいの場所をお答えください。（1つだけ○印）

①新宮町西栗栖(坂西)	②新宮町光都	③上郡町光都	④区域外	無回答	計
34	64	11	2	1	112

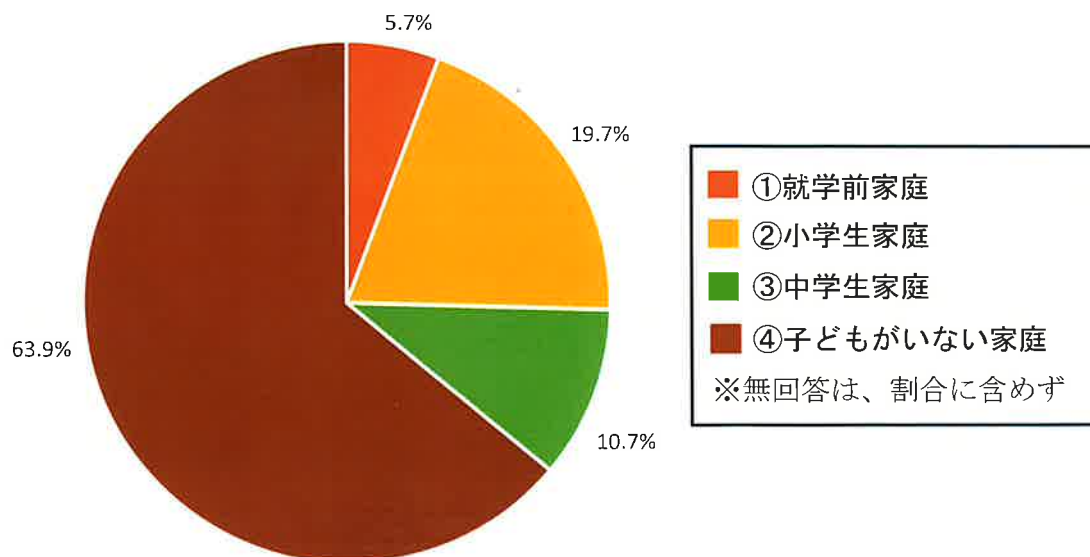


質問2 あなたの世帯についてお答えください。（令和6年度現在）（複数回答可）

①就学前家庭	②小学生家庭	③中学生家庭	④子どもがいない家庭	無回答	計
7	24	13	78	1	123

重複

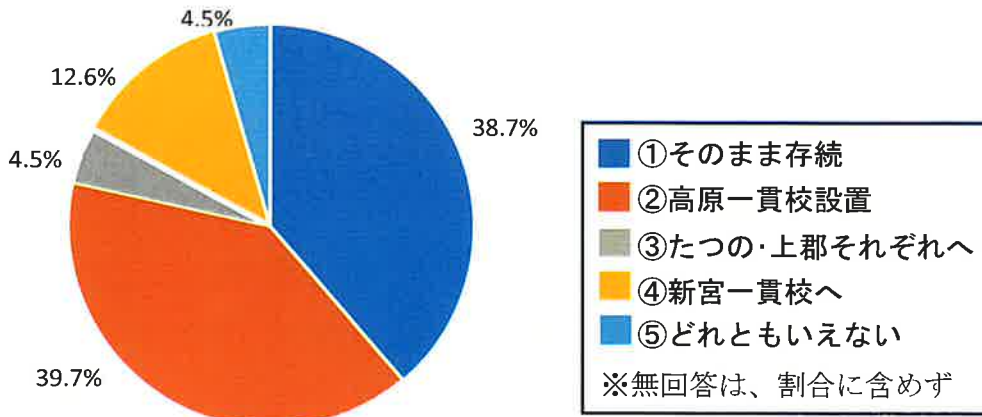
11



播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査結果表

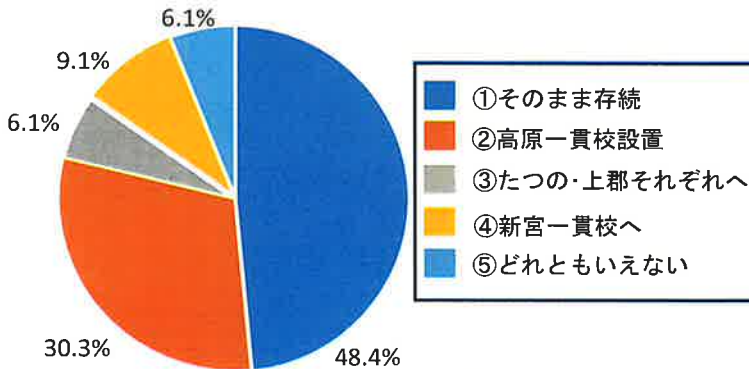
質問3 播磨高原東小学校、播磨高原東中学校の今後の在り方について、
 どのようにお考えかお答えください。(1つだけ○印)

①そのまま存続	②高原一貫校設置	③たつの・上郡それぞれへ	④新宮一貫校へ	⑤どれともいえない	無回答	計
43	44	5	14	5	1	112



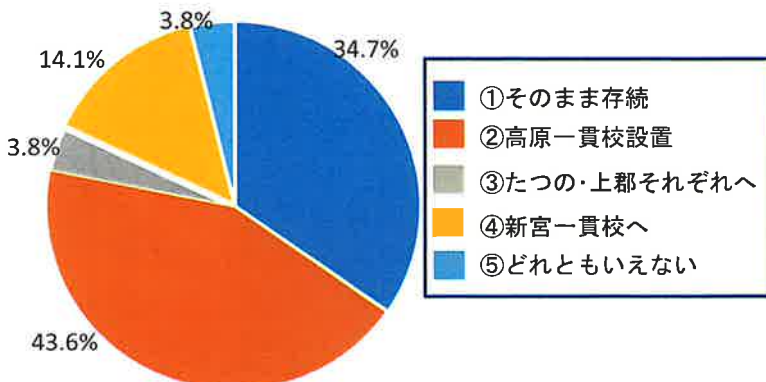
質問3のうち、質問2で子どもがいる家庭(①~③の計)の集計

①そのまま存続	②高原一貫校設置	③たつの・上郡それぞれへ	④新宮一貫校へ	⑤どれともいえない	計
16	10	2	3	2	33



質問3のうち、質問2で子どもがいない家庭(④中学生以下の子どもがいない)

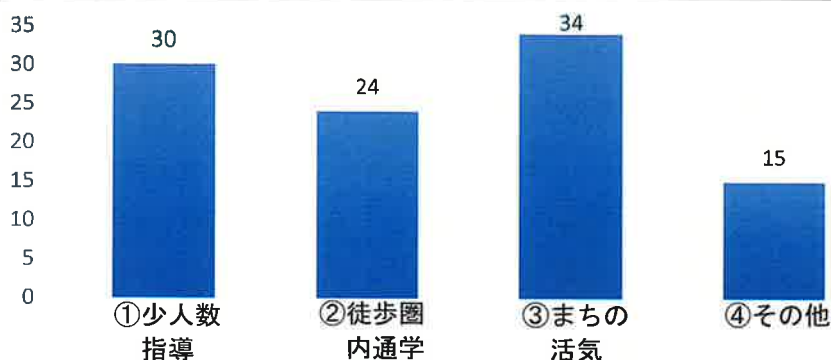
①そのまま存続	②高原一貫校設置	③たつの・上郡それぞれへ	④新宮一貫校へ	⑤どれともいえない	計
27	34	3	11	3	78



播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査結果表

質問4 『現在の小学校、中学校をそのまま存続』とお選びになった理由をお答えください。（複数回答可）

	回答数
① 少人数を生かした、きめ細かな指導が受けられる	30
② 徒歩圏内で通学ができる	24
③ 学校が無くなると、まちの活気が失われる	34
④ その他	15



④その他

今後のSPring-8-IIへの改築に伴う発展、第2工区第3工区の発展の可能性に期待しています。定住者を光都に増やすには小・中学校は必須。今の小・中学校の位置関係から考えると敷地を1つに統合すれば、小中一貫校にも移行可能と思われます。

そのまま存続が難しいのなら、播磨高原小中一貫校の設置。学校を無くすと、まちとして成り立たない。都市の発展には学校が必須。

都市の発展や定住人口増が多少なりとも見込める以上、存続すべし。

校舎が使われなくなると、治安が悪くなりそう。人口も減って街が衰退しそう。

遠くの学校へ通学となるとバス通学になり、日々歩いて体を作る機会が大幅に失われる。また、地域を歩くことで、地域に思い出、愛着ができる。播磨高原東中学校に「しかっチュ」が生まれた。今後も学校はそのまま存続してほしい。

少人数が心配に感じるところもある。他校との交流を増やし、行事や授業(WEB)など一緒に取り組むような仕組みがあったらいいと思う。

播磨科学公園都市と言うのであれば、小学校中学校が有るのが良いと考えます。たとえ少人数でも予算が問題であれば、兵庫県知事に相談しましょうよ！

1996年企業庁の都市計画街作りがあって、今さら小中をなくすは、このまちを捨てるつもりですか？近隣の通学できる方が来られたら良いのです。何故附属中学校もあったのですか？不条理な作り方、住民を苦しめる政策だと思います。

校舎の規模も他校と比べて小さいので、少人数になってもそのまま校舎を使い続けた方が良い。

圏内という枠を取り払う。少子化で有る今、枠は不要。新宮にもバス通学で有る事からして、バス運行可では？組合立で有るが、教育は基本でなければ。

小中一貫校でも良い！！

小中学校の存続の是非は、播磨科学公園都市の存続に関わる大きな問題です。小中学校の無い街に、子育て世代が移り住みに来ることはありません。現在の住民が高齢になれば、近隣の限界集落のごとく同じ運命をたどります。行政は、この街を維持発展させるために、もっと努力すべきだと思います。若い世代が移り住んで来たくするような施策を考え、実行してほしいです。

現在の小中一貫(連携)教育がうまく機能しており、子ども達にとっても良い教育環境、自然環境状況であるからです。我が家の子ども達も今の小学校、中学校が大好きです。ふるさとに学校を残し、そして街を残してあげたいと思います。

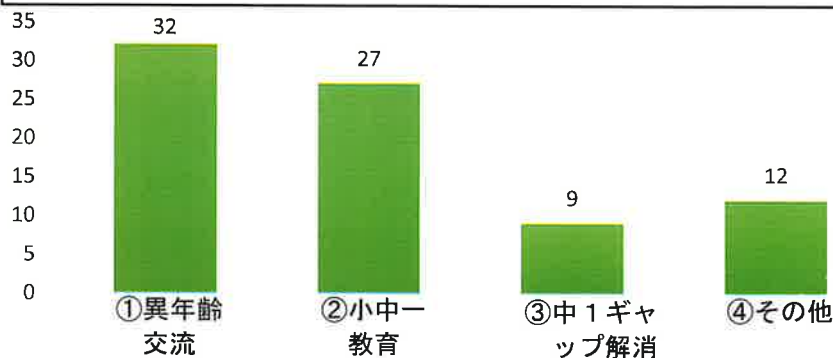
存続するのであれば、小中一貫校でもかまいません。どういう形にせよ、この地域に学校が残ることが大事です。

学校が無い町に若い人が住むわけがないので、町を作ったのだから、存続させるのは自治体の使命だと思います。

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査結果表

質問5 『播磨高原小中一貫校を設置し、そこへ通学』をお選びになった理由をお答えください。（複数回答可）

	回答数
① 幅広い学齢の児童・生徒が日常的に異学年との交流を図ることができる	32
② 情報・英語・キャリア教育など小中一貫教育の計画のもと学べる	27
③ 「中1ギャップ」を防ぐことができる	9
④ その他	12



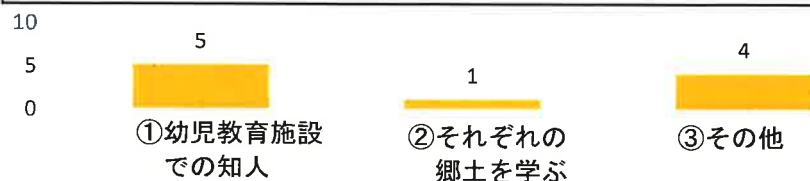
④その他

<p>中学に進学後、部活動に参加する生徒が年々減っている。それぞれ事情やお考えがあると思うが、核家族中心の今だからこそ、家以外の価値観を知る機会としてとらえてはどうかと思う。外遊びも減り、身体機能の低下も著しく感じる。そのためにも小さい頃からの経験増やすきっかけになると思う。</p>
<p>地元で育つ時間を伸ばせる。</p>
<p>県立大学の協力を得たユニークな教育。</p>
<p>徒歩圏内で通学ができる。</p>
<p>山の上に学校が存在することが重要。そしてその存続を考えると、一貫校または個々の学校が存在すること。</p>
<p>小規模特認校制度の導入に期待します。</p>
<p>SASなどの特色のある教育環境の継続が可能。企業の立地や周辺地域からの訪問人数が増えても、定住人口が増加しない事は大きな問題であり、この地域に学校が存在しなくなると定住人口の増加する可能性が極めて低くなる。</p>
<p>1. 現在の播磨高原東小・中学校の施設が無駄。2. 播磨高原地区の活性化 テクノ地区の活性化、居住人口の増加</p>
<p>徒歩で行ける範囲に学校があることが望ましい</p>
<p>近距離で通学できる</p>
<p>少子化の影響のため、やむを得ない。</p>
<p>今後の都市内の児童・生徒増加となった場合に、都市内で学べる学校が無くなることを防止できる。</p>

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査結果表

質問6 『たつの市、上郡町のそれぞれの住所地の学校へ通学』をお選びになった理由をお答えください。(複数回答可)

	回答数
① 幼児教育施設(こども園、保育園)で、知り合った友人と同じ学校に入学できる	5
② それぞれの住所地の歴史や文化、産業など郷土について学ぶ機会が増える	1
③ その他	4



④その他

人数的に少人数過ぎて集団で行うことができていない。部活動など選択できないため。
高校生になった時、なじめずういてかわいそうであったため。
同じ町内にできる友人の人数などかなりかわると思う。将来的にその友人の数が子供の成長にも大きく影響する可能性がある。
人数が多い方が、部活動や勉強で競い合い、充実した生活が送れそうです。学童などもあると思うので助かります。

質問7 『たつの市新宮地域小中一貫校へ通学』をお選びになった理由をお答えください。(複数回答可)

	回答数
① 毎年クラス替えができ、大人数での学習活動を受けられる	11
② クラブ活動や部活動の選択肢が増える	12
③ 新しい校舎で学べる	2
④ その他	3



④その他

小規模校の良さもあるが、現在行われているSAS(年に数回)等は新宮小中一貫校でもされたいのでは。年数回の特別授業より、日々の学習生活に重きをおいて考えてみては。
存続させるには、子どもの数が少なすぎると思います。
多様な人間関係を通して社会性をはぐくめる。将来の友人を増やせる。

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査結果表

質問8 『どれともいえない・その他』をお選びになった理由をお答えください。

回答数 5

私の実家は小学校がなくなり、分校になり、それもなくなった。残すのは良いと思うけど、そもそも子どもがいなければ無理な話。
子供がいないため
将来光都地区の人口が増えるのであれば、①or②で存続してほしいと思いますが、増える見込みがないのであれば、③になるかと思えます。
教育は、教育内容の濃さ、充実のみならず、できるだけ、子供同志、友情他の知育だけでない精神的な側面が大切だと思います。その為には、大勢の友達、いろいろな異なる場面スポーツ等、公平に貧富の差に関わらず、受けられる教育環境が必要だと考えます。学校は知育だけではでない。
今後の見通し、開発予定が住民に見えないことや、これまでの取組み(バスターミナル設置)などの効果の検証等が不明のため、住民、児童の今後の動向について全くわからない。人口増と生活施設の充実は、確実にリンクするので、町全体の今後を考える中で小学校中学校の形態を検討すべき。現時点でも「少人数の充実した教育環境」に魅力を感じて光都に来る方が少人数ながらにあります。そういう人を捕まえるために何をすべきかまず考えるべき。

質問9 その他、ご意見がありましたらご記入ください。

回答数 49

現在良い学校設備があるし、なるべく近い場所に学校を少しでも長く存続させてほしい。
小中一貫校でもいいが、徒歩通学ができるところがよい。現在も徒歩通学が楽しいと言っている。1年生から6年生まで一緒に登校することにより、勉強になることもある。
ここを卒業した生徒達が、希望すれば光都にある兵庫県立大学付属高校に行けるくらいの学力がつかなら、遠くからでも高原中学校に通ってくる子が増えるのでは・・・卒業していった生徒達のためにも是非とも小・中学校を存続してほしいです。
光都に学校が無くなってしまったら寂しいですし、どんどん過疎化が進むと思いますので、何らかの形で存続していただけるようお願いしております。
過去少人数であっても、進学率は他校以上であることをもっと住民にPRすべきである。
新宮や上郡の学校に通うとなると、生徒、保護者両方の負担がかなり大きくなるし、町の活気も失われてしまう。小中一貫校でもいいので、播磨高原東の名を残してほしい。
素晴らしい環境、施設で教育を受けてこそその多様性ではないでしょうか。子供たちの未来のためにも存続させるようお願いしたい。
前回のPTAのアンケートでは、小・中それぞれそのまま存続を選びましたが、急激に子どもの数が減る中で、小中一貫校として存続を目指す方が現実的だと思いはじめてます。また特色を持たせていくことも大変重要になるので、理研や県立大と協力協定などを結んで興味のあることにとことん取り組む子どもを地域をあげてサポートするなど(海外の姉妹校を見つける)、ここの学校だからできることを作り、それをアピールして行くことが必要かと思えます。検討会では、存続の可否のみならず、いかにして特色を出していくか引越したり親が送迎したりしてまでも子どもを通わせたいと思える学校にするか、ご検討いただけたら幸いです。既存の教育を続けるだけでは、生き残りは難しいように感じます。
小規模校の特徴をこれからも生かしてもらい、存続していただけたらと思います。この土地に住んでいるからこそ(通学、通勤しているからこそ)の良いところもたくさんあると思うので、お願いします。やはり、移住される方にとっても、学校の有無も決め手の1つとなると思います。
現在の小学校と中学校が存続できれば理想的ですが、近隣の状況から考えて、それは不可能に近いと思います。小中一貫校の設置を選びました。地域にとって、学校存続は大問題です。
播磨高原小中一貫校を設置し、他の校区の児童も受入可能とし、ここでしか学べないカリキュラムを作成し、人間形成～幅広い教育を受けることが可能。一貫校を目指してはどうでしょうか。又、県立附属中学校との合併を視野に入れても良いと考えます。

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査結果表

財政が悪くなり、昔から一貫的な計画(約束)も変更になって、最初からの住民への説明したこと、水泡になってしまうと恐ろしくなると思います。むしろ計画とおり近辺4町の方々が山に上がって求学の方を受入れ魅力的なまちになると思います。(通学バス利用)最初(初心)の通り、山の上に入学したい子どもたちを受け入れて活気あるまちにしたら、絶対よくなると思います。(4町の結束力になる)・テクノにゴミ(Ⅱ町)三原地区・火葬場も持ってきたのに、小学校中学校廃止は許せない。

学校が無くなると、子育て世帯の光都への移住は選択肢にはなり得ません。光都が限界集落とならない為にも学校は存続させて下さい。このすばらしい町を、学校の未来を光り輝くように願っています。また、息子はこの町へ戻りたいと言っています。しかし、学校が無ければ戻ることはいけません。私言になりますが、何卒学校を存続させてください。一貫校となっても存続すればよいと思っています。

児童・生徒数が少なくなれば、学校の魅力がなくなってしまいます。何か特色を出して選んで来てもらう学校にすべきだと思います。単独の存続が危ういのであれば、小中一貫校でなくても小中学校として同じ位置に設置する方法もあると思います。その場合、空いた学校を県立の大学附属小学校にできれば町の存続にもつながると思います。

光都から小中学校がなくなると、住人は今後増えないと思います。学校があるので移住される方もいるので、学校は絶対に残して欲しいです。

在校生の人数、今後の見込数から考えると、④の新宮地域小中一貫校へ依頼するのが現実的だと思いますが、播磨科学公園都市から小・中学校がなくなると、都市の魅力は全くなくなります。(教育施設が近くにあることが居住地の選択につながる)廃校の前に、企業庁が新規分譲をしない(事業廃止)可能性もあるのかもかもしれませんが、学校とは、居住者(若者)を増やすことを目指すのなら、必要不可欠で、ギリギリまで頑張ってもらいたいと思っています。学校の存廃の前に、企業誘致や病院や小売店など生活基盤の整備、居住者増加にむけて、行政は真剣に取り込んでほしいです。小学生が遠くの学校へ通ったり、現住民が犠牲にならなくても良いと思います。在校生、今後入学する方全員が遠方でも大人数での教育を選択されるのであれば、廃校も仕方ありませんが、播磨科学公園都市は住む所ではなくなる覚悟での決定になるのだと思っています。

地域のインフラの一つとして学校は重要。そのまま存続させていただきたい。

子どもたちにとって、故郷といえる地域の学校で教育を受けることができるのはとても大事だと思います。ただし、今の小学校か中学校のどちらかにまとめるのは、小学生用、中学生用の仕様が異なるので好ましいとは思いません。また学校がなくなって、地域が廃れ、故郷と言えるところがなくならないようにしたいものです。このところ学校の存続問題でなんとなく地域から元気が感じられないように思います。それでも子どもたちは元気いっぱいなので、それを生かしたいものです。SPring-8Ⅱができたときに活気ある街になっているよう行政も考えていただきたいです。住民も協力します。

子供2人が高原小・中と通わせてもらい、とても充実した良い学校生活を送ることができたと思っています。小さいながらもとても良い教育をされていると思うので、できればこの町のためにも存続してほしいです。

少人数で手厚い高原小に通うことが、この地区に住んでいる理由です。今後統合で新宮地域まで通うようになるようなことがあれば、テクノ周辺に住むよりも引っ越しをした方が何かと便利そうです。同じように考える家庭が他にもあるならば、まち全体の活気が失われることにつながります。

行政の方々は何を目標しているのですか？自治体のお金の節約ですか？今、守るべきなのは子供たちで、子供たちの幸せを第一に考えるべきだと思います。子供たち、若い人たちを応援する町作りをしてほしいです。ご自分たちの貢献を何に置くのか、今一度考えてみられてはいかがでしょうか？学校を減らすことは簡単ですが、後戻りできないことなので、よく考えてほしいです。

子どもの数が減少しており、このまま存続するのが難しいので、このような問題が発生しているのだと思います。小中一貫校にすることで人数も増え、運動会などの行事もやりやすくなると思います、小中一貫校を選択しましたが、この場所に小中学校が残るのであれば、そのまま存続でもどちらでも構いません。

地域にとって重要な社会資本である。

今のままの小、中学校の形が良いが、実際の人数から考えると難しい。人を増やせるものはないかと思う。

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査結果表

本当は、児童数が充実していれば、播磨高原東小・中学校を残していただきたいのが本音です。が、複式学級になっている今の現状を考えると、学びが低下していくのでは・・・と思います。その学年・年齢で発達の手度は違いますし、1人の先生が、2学年を充実してみれるのかなと疑問に思います。そして、部活動は、自分の意志に関係なく、ソフトテニス・卓球のみ。色々なことを考えると、たつの市新宮地域小中一貫校かなと思う。

播磨高原小・中学校もたつの市新宮地域小、中一貫校へ行くようにしたら

私自身が田舎の小中学校出身で、少人数クラスの良し悪しを経験している。(保育園～中学までずっと30人規模1クラス)発達障害をもつ児との関わりにおいては、少ない人数と長期的に接することでお互いの理解が深められ、安定した人間関係の構築やゆっくりと成長する機会となり、メリットになり得る。(しかし、仲間外れになると毎日が苦痛になる)。もちろんきめ細かい指導により、学習効果は高い。一方で、小中学校のうちに身につけたい社会性がなかなかはぐくまれず、高校進学時に苦勞する。いつも同じ相手と接すると伝える力、断る力、協力する力、交渉する力などが役割固定となり不足しがちとなる。今後社会(国際)で活躍するためにも、大人数の学校があると良いと考える。

通学バスなど、来てくれたら嬉しい。保育園のお友だちは皆新宮へ行く子が多いので、一緒になれば嬉しい。人数が少しでも多い方が、将来、高校などに行ったときにいきなり大人数になるよりいいと思う。自分の子どもに、充実した学校生活を送ってほしいと心から思います。播磨高原東小学校、中学校も、人数が少なくても一人一人に指導や勉強が行き届いて、いいなあと思います。

企業庁が、まちの将来像を地元市町や有識者を交えて新たに議論する協議会を設置するとされており、その議論の動向を在り方検討会でも情報共有いただきたい。小・中学校の在り方は、光都のまちづくりの方向と表裏一体と考えます。

関係行政機関と粘り強い話し合いで子供達にとって良い方向に進めてください。

1994年当地に来て、2万人住む都市を目標とする・・・という話は震災によって打ち砕かれてしまった。県が単独で借金をし震災復興を成し遂げようとしている話を聞きさらに驚いた。県政の姿勢が完全に間違っているという事である。この間違いを正さず、播磨高原の計画を停止した状態で放置している事に対し憤りを覚える。この状況の下、小中学校廃統合問題で住民を悩ます原因を作った県の執行部は糾弾されるべきであると考ええる。

行政に光都地区の人口が増えるような施策を期待します。

テクノを発展させるためには、人口を増やすことが最も優先すべき課題だと思います。

卒業生です。当時は複式学級で、中学生が小学校に給食を食べに来ていた記憶があります。人数が少なく先生たちは大変ご苦勞されたと思いますが、少人数ならではの児童同士、先生と児童との密なコミュニケーションがとれて良かったと感じます。また近隣の学校に馴染めなかった子のセーフティネットのような役割でもあったと思います。余談ですが、安藤忠雄の建築という事で、イベントなどの企画をされると(オープンスクールのような)町の活性化にもつながると思います。

このままテクノ地域の状態であれば、人口減少は目に見えている。西播磨の活性化のためにも兵庫県で考えてほしい。学校の存続についてもその1つである。

多くの子供達は、都市内の研究施設や企業に勤務する人の子弟である。一種の企業城下町である。それが、この都市の特徴である。生活インフラが決して良くない都市で、一定の住人が生活している理由はそこにある。「城」が衰退に向かえば限界集落になり、都市は消えていくでしょう。

定住人口の増加を図る第1条件は土地価格の大きな値下げが必要不可欠である。県との交渉、地域住民皆んなで要望すべきである。全国的に人口減による小中一貫校が増加している現実。新都市にふさわしい地域性を生かし小中高一貫校を検討する必要はないか教育委員会で考えてほしい。

新宮地域に新しくできる小中一貫校と、今ある高原東小・中学校を残して、新宮校区の子供達がどちらでも選べるといいと思います。大人数の学校が良い子も少人数の学校が良い子もいると思います。子供達の意見も大切にしてください。

卒業生への質問が、22歳以下なのは意図がおりだと思います。・・・が、我が家の子供(上の子供たち)は社会人になっている者もあり、今の立場での中学校への思いもあるようでした。又の機会によりしくお願いします。

ICTのオンライン授業で県内の他の地域とつながったりするのはとても良いと思います。

播磨高原東小学校及び播磨高原東中学校の在り方に関するアンケート調査結果表

人数が少ないのはとても残念です。開校した年に入学し、大変な通学でした。男の子なのでがんばって自転車で通学しました。その時も人数は少なかったです。が、みんな頑張っって色々な事に挑戦していたと思います。意見ではないですが、当時のことを思い出します。今は、とてもたのもしく、頑張ってくれています。

私もここに移り住んだ時には、小学校から大学迄の立派な教育環境、スプリング8や粒子線リハビリ等、この都市の発展を期待していました。ただ、自然は、あっても共生(特に野生動物)はむずかしく、空気の良さと散歩(ウォーキング)が楽しみです。現在の少子化の時代にあつては、やむを得ず、父母の皆様のご判断に委ねます。

少人数で先生の目が届くところが良かったです。クラスの仲も良く、男女関係も兄弟のように相手を思いあつており、安心しています。

新宮は遠いので、三日月と合併、あるいは交流しては？

子供の事ばかりとりあげているが、今の先生より昔当時の先生の方が子供によりそっているように感じます。(個人的意見)統合することよりも子供達の気持ちを考えてほしいです。

店、病院などがなく、バスも減便、公園都市に今後人が増えるとは考えにくいです。企業の従業員も寄宿舎の建築とありましたが、外国人の実習生のもので、子どもが増える家族系体ではありません。現在テクノで仕事をされている方(子どもがおられる)、どれぐらいの人がテクノに住んでいるのか、把握されていますか？ほとんどが便利な、町からでは人口減少(子どもの)をしっかり受け止めて、子どもたちにとって良い学習環境を整えることを願います。高校大学、SPring-8、医療センター、サッカー場、他企業は子どもたちの日々にはほぼ関係なく、学校をどうするのか考えるうえで参考にしない方がいいと思います。

安藤忠雄建築の明るく開放的な校舎で小・中学生の時間を過ごせたことは、我が家の子供達の人生にとって大きな財産だと思います。どのような形になるとしても、この建物は有効的な活用をして欲しいと思います。

子供の人数が少なくなっているのは、どこも同じだと思われませんが、その逆をとらえて、結びつきを良い方向に育てられると良いですね。

新宮に大規模校が作られることが決定する際、西栗栖小学校には協議の機会があつたのに、当校区には話を聞かれる事(合併が良いか、存続が良いかなど)が一切なかつたので、存続が決まっているのかと思つていました。住民の意見も大事だとは思いますが、「現在、小学校低学年の子供がいる保護者」や「未就学の子供がいる保護者」の意見が当事者となるので、優先して大切な意見にするのが良いと思います。

参考質問

播磨高原東小学校・播磨高原東中学校について、今どう思いますか。

少人数で良かったこと	少人数で困ったこと	1クラスの人数
先生が気付いてくれるし、いじめがない。	何も困ったことがなかった。みんな友達の間は良かった。たまに試合に行くと団体戦に出れない学年が出てくると聞くことがあったけど。	10人以下
みんなと仲良くなれる。のびのび過ごせる。	行事等で盛り上がりに欠ける。	11人～20人
教室が広く使える。	関わりたくない人と関わらなければいけないことが多くなる。	11人～20人
少人数のため様々なことにチャレンジする機会が多かった。先生に質問等をしやすくトラブルも少なかった。(いじめやけんかがひどいレベルのもの)	記入なし	11人～20人
クラスにしても学校全体にしても、生徒同士の仲が深まりやすく、一体感があった。	クラブ活動の種類に制限がある。	11人～20人
先生方に余裕があり、生徒自身も穏やかに毎日を過ごせた。	行事の盛り上がりに欠ける。	11人～20人
勉強で分からないこと等があると、先生や友達が優しく教えてくれたこと。	部活動の選択肢が少なかったこと。	11人～20人
みんなと仲よくなれる。リラックスできる。きんちょうしない。校舎を広く使える。	運動会がしょぼい。部活が少ない。	11人～20人
学習などが手厚い。みんな仲よし。	体育など競技ができない。	11人～20人
全員知っているし学年を超えて仲よし。安心感があった。授業がゆるい。※大人数のクラスと比較したことがないのでよく分からない。	なし	11人～20人
学年内のみならず、学校全体の生徒の顔と名前が分かったこと。広い校舎、教室でのびのびと学べたこと。	少人数から一般的な人数の高校に進学した際の違い。部活動での他校との差。県立大付属中学への進学による人数の減少。	11人～20人
距離感が近くていろいろな人とコミュニケーションが取りやすい。学年を超えた団結力がある。	特に高校生の時に大人数になった際にどのように人と接したらいいのか不安だった。人見知りになりやすい。	21人～30人
先生の目が1人1人に勉強以外でもいき届いていたこと。	気の合わない人とずっと一緒なのがしんどく感じるなど外部のたくさんの人と関われない。	21人～30人

少人数で良かったこと	少人数で困ったこと	1クラスの人数
名前が長いのと、人数が少ないので自己紹介に使いやすいし覚えてもらえる。	・姫路の高校に通っていますが、知名度が低すぎる。 ・同じ中学の友達が少ない。	21人～30人
体験授業で少人数だと授業の進行も早く、活動がしやすかった。珍しい体験もできて楽しかった。	高校に入ってから1クラス40人が平均となり、少人数とコミュニケーションを取るのが普通だったためやりにくさを感じた。	21人～30人
名前と顔が覚えやすい（一致しやすい）、部屋を広く使える。	クラスでの自分の役割が確立してしまう（クラス替えがないため）失敗が怖くなりがち。全校表現の迫力がない。	21人～30人
同級生の名前と顔が一致する。	人手が足りない。	21人～30人
少人数なので、生徒一人ひとりに対しての授業等のサポートが手厚かった。	高校や大学へ進学した際、大人数の集団での生活に不安もあり、なかなか慣れられなかった。	21人～30人
先生に勉強で分からないところを教えてもらいやすかった。1人ひとりの活動をちゃんと見てもらった。	大人数の前では緊張して話ができなくなってしまった。	21人～30人
みんなが仲が良かった。	部活動がしにくかった。	21人～30人
クラスのみんなの仲が良い。先生が生徒のことを全員覚えてくれる。	部活が少ない。高校になじむのに時間がかかる。	21人～30人
対人：深い関係になりやすい	合わない友人との距離がとりづらい	21人～30人
クラスの人と仲良くなりやすい環境だったこと。また、行動も全員で団結して考えたりと、1人1人が自分の役割を見つけ、責任持って行動することの大切さを学べること。のびのびすごせたこと。	部活動の種類が少なかったこと。また、色々な人に出会う機会が少なく、思いこみや偏った考えを気づかないうちに持ってしまう事。	21人～30人
クラスメイトの名前を覚えられる。	高校に上がった時に戸惑った。役員をクラス全員が担当しないといけないのが嫌だった。	31人～40人
幼小の時からずっと同じ友達がいて気心が知れている。	トラブルになったら解決が難しい。それを心配して過剰に気を遣う。高校で大勢生徒がいる環境に慣れるまで時間がかかる。	31人～40人
いろいろな事ができる。	行事が盛り上がりにくいこと。	31人～40人